

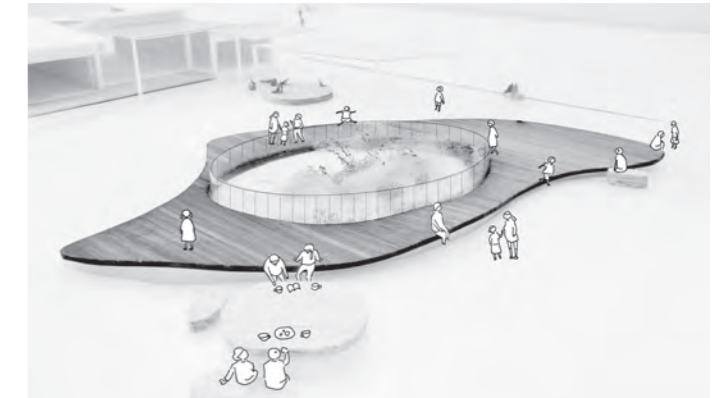
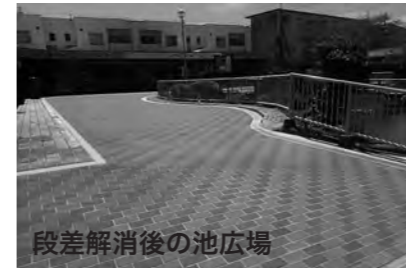
餅つき大会アンケート・全戸配布アンケート 結果発表！！

今年度も12月の餅つき大会アンケートと1月に全戸配布アンケートを実施しました。今年のテーマは、「池広場に設置する家具について」です。

段差解消工事が完了して広々として歩きやすくなった池広場ですが、コンクリートのイスとテーブルを撤去したため、ゆっくり座る場所がな

くなっています。また、藤棚の下の丸いベンチは大人にとっては低く、高齢者が立ち上がりにくいという問題があります。

そこで団地再生委員会では、池広場にベンチを設置するとしたらどのようなものが良いかの検討を行っています。アンケートでは4つのベンチ案を提案し、住民のみなさまに意見を伺いました。



ぐるっとデッキ案（平成28年度）

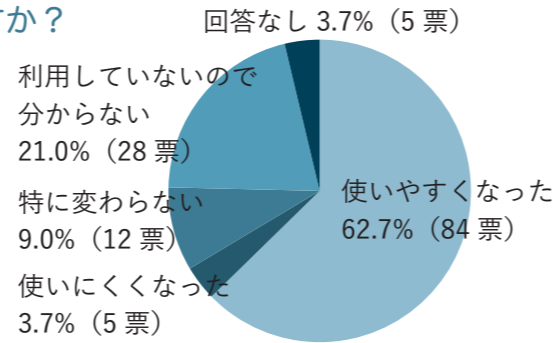
※池広場のイメージは平成28年度のアンケートにて最も多くの方にご賛同頂いた「ぐるっとデッキ案」を元に作成しています。イメージであり、決定した案ではありません。

全戸配布アンケート

Q1. 段差解消工事後の完了した池広場に対して、どのように思いますか？

段差解消工事は回答者の60%以上から「使いやすくなった」という意見をいただきました。利用していないので分からないという回答の中にも肯定的な自由意見をいただいております、概ね好評であることが分かりました。

また使いにくくなったという意見からは、家具がなくなったことが指摘されていました。



自由意見（抜粋）

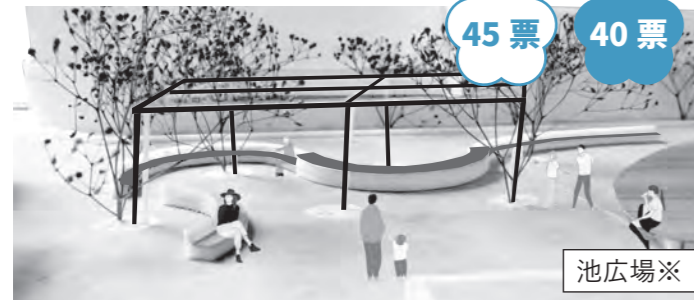
- ・広くなったように感じ歩きやすくなった。
- ・夏祭りの盆踊りに段差がなくなり良くなった。
- ・テーブルとイスがなくなっておやつを食べたりできなくて困る。
- ・固定式のベンチ・テーブル等は使用範囲を狭くしてしまう。置くとしても可動式にしてほしい。
- ・見晴らしも良くなった。池広場は不要だと思います。

全戸配布アンケート

餅つき大会アンケート

Q2. 池広場に新しくベンチを設置する場合に、良いと思うものを1つ選んでください。

① ラインベンチ案



餅つき大会 全戸
45票 40票

池広場※

藤棚下から池広場の周りを囲むように細長いデッキを設置して、居場所をつくります。

通り抜けできない邪魔になるかも

かたちが素敵
向かい合えると良い
子どもも大人も使いやすそう

② だんだんベンチ案



餅つき大会 全戸
35票 15票

池広場※

藤棚の下に植栽を囲むように階段状のベンチを配置して居場所をつくります。

子どもが登って危ないのでは

立体的に使いそう
集会ができそう
子どもたちが遊べそう

③ まんまるベンチ案



餅つき大会 全戸
6票 6票

池広場※

池広場全体に球体状のまんまるの特徴的なベンチを配置し居場所をつくります。

丸いと座りにくい

かたちが面白い
店舗の前にもあるのが良い

④ 既存ベンチ活用案



餅つき大会 全戸
44票 63票

池広場※

藤棚下の低い既存ベンチに木板をかぶせて、大人にも座りやすい高さとし、居場所をつくります。

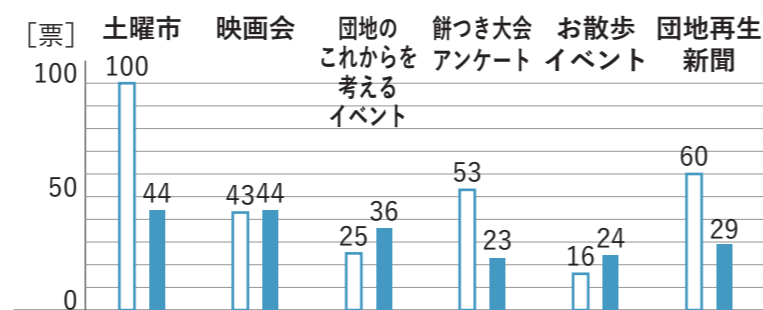
あるものを活かしたい
安く出来そう

木をかぶせるところが良い

全戸配布アンケート

Q3. 団地再生委員会の取り組みについて (A) 参加した・読んだことがあるものと (B) 参加したい・読みたいと思うものを好きなだけ選んでください。

- (A) 参加したことがあるもの
- (B) 参加してみたいもの



今年の餅つき大会アンケートは子ども達も多く参加してA案とB案に多く投票していました。その結果、餅つき大会ではA案とD案が拮抗しました。一方で、全戸配布アンケートでは圧倒的にD案に支持が集まりました。また無回答や自由意見の中で「各案の工事費を示すべき」や「家具は可動式が良い」、「広場の家具よりも防災に予算を使って欲しい」などの意見もいただきました。

寄せられたご意見を元に来年度に一部でも実現できることを目指し、また多くの方に活動を賛同いただけるように、引き続き活動を続けていきます。

総回答数

餅つき大会
アンケート
130票

全戸配布
アンケート
134票

みなさまのご協力
ありがとうございました！

50周年にむけて団地のこれからを語ろう！イベント第二弾を開催

昨年度に引き続き、50周年に向けて団地のこれからを語ろうイベントを11月16日（土）に開催しました。今回はゲストにマンション総合コンサルティング（株）代表の廣田信子氏をお招きして、対話形式でお話いただきました。



廣田信子氏
一級建築士・マンション管理士
マンションコミュニティ研究会代表
元（公財）マンション管理センター総合研究所
主席研究員
コミュニケーションコーディネーター・コーチ

終の棲家から住みつなぎへ

- 1. 今後の日本のマンションを取り巻く状況**
 - ・全国の40年後の高齢化率は45%、空き家率は13.6% → 孤独死などが起こると資産価値が低下してしまう。
- 2. 高経年マンションの課題**
 - ・管理組合の高齢化（組合員、役員、居住者） → 次世代に向けて外部委託する組合が増えている。
 - ・空室の増加 → 相続放棄しないため売れる団地であることが必要。
- 3. 西小中台の現状は？**
 - ・高齢化率が45%、空き家率は10.7%、賃貸18.8%
- 4. 皆さんの未来は？**
 - ・ずっと住み続けられたら良いが…
- 5. 西小中台の未来は？**
 - ・次世代に引き継いだら売却が予想される。
- 6. 西小中台は「終の棲家」になるか**
 - ・一般的には階段が昇れなくなったら施設へ行く → バリアフリーだけが良いわけではない。階段を元気に昇る「長生きマンション」の可能性。
- 7. 西小中台を次の世代に引き継ぐには**
 - ・近隣に子供世帯がいたり、近隣に住んでいて高齢になり西小中台の1階へ移り住んだ事例がある。 → 地域への情報発信が必要。
- 8. 西小中台を購入しようと思う人の決め手は何？**
 - ・新規購入者、若い世帯への聞き取りが必要 → ホームページでのアピールが大切。
- 9. 未来の居住者を呼び込む戦略は**
 - ・今ある資源を活かす → 例えば広い部屋を持って余した高齢者に向けて「狭さ」を売りにするなど
- 10. 将来の方向を決められる合意形成の進め方**
 - ・コミュニケーションの方法に配慮する → イベントや総会にお誘いする戸別訪問など「人を集める」目的意識を持って活動する。
- 11. 自分がもういないであろう未来のためにできること**
 - ・若い人の活動に協力する
 - ・情報発信をもっともっとしていく

【お話を終えて】
高経年団地の課題を一人一人の問題として感じられる会でした。特に「次世代への相続をどう考えているの？」という問いは、個人同士では話しにくい事柄ですが、このような場で意見交換することで、各家庭に問題意識を持って帰るきっかけになったと思います。

編集後記
今年度は「素敵な暮らしのインタビュー」では、同じ間取りといえど実に色々な暮らし方が見えてワクワクするお話を聞く事ができました。2年後に迫った西小中台団地50周年記念に向けて、カタログ作成を考えています。

発行：団地管理組合法人西小中台住宅、団地再生委員会
発行日：令和2年3月
資料作成：有限会社マル・アーキテクチャ（森田）

だんち☆さむせいのいんかい 団地再生委員会たより

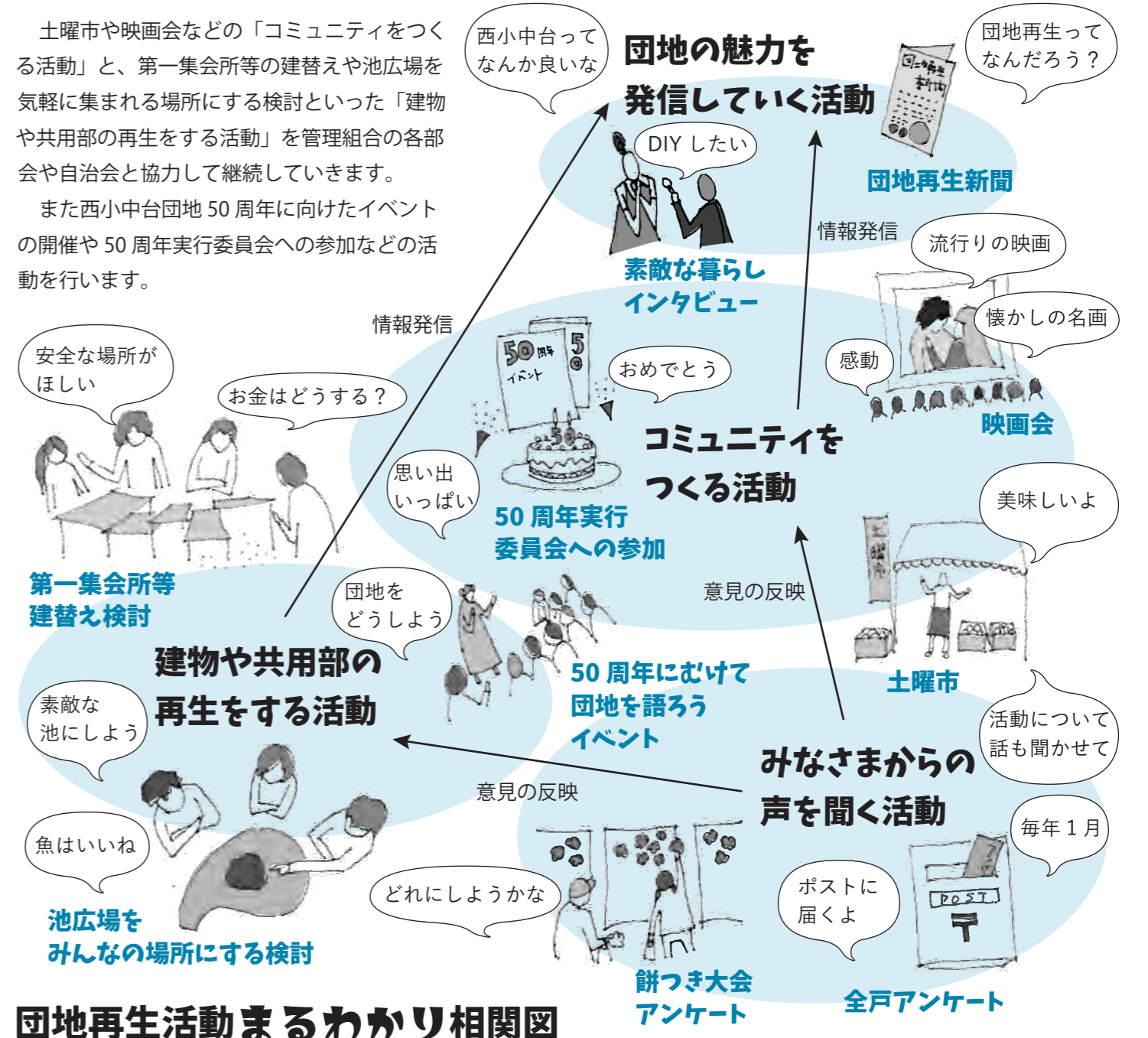
令和元年度
第3号！

寒さの中にも少しずつ春を感じる季節となりました。西小中台といえばレンガ通りや貝塚公園の見事な桜は毎年の楽しみですが、竣工当時に植えた桜も大分高齢になり、樹勢回復や間伐などの手当が必要だそうです。
団地も桜も人も年をとりますが、それを「味」に変えていけるように、団地再生委員会は来年度もソフトとハードの両面から活動を続けていきます。

西小中台の団地再生活動はコミュニティをつくるソフトの活動と建物や共用部を再生するハードの活動の両輪でできています！

令和2年度はこんなことに取り組みます！

土曜日や映画会などの「コミュニティをつくる活動」と、第一集会所等の建替えや池広場を気軽に集まれる場所にする検討といった「建物や共用部の再生をする活動」を管理組合の各部会や自治会と協力して継続していきます。
また西小中台団地50周年に向けたイベントの開催や50周年実行委員会への参加などの活動を行います。



団地再生活動まるわかり相関図